

平成 24 年度 事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成 7 年 3 月に設立され、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

具体的には、海外諸都市との国際交流事業のほか、国際交流団体等の活動への支援や外国人市民への支援に重点を置くとともに、地域住民と外国人との交流の場の創出や各国の文化への理解を深めるための国際理解講座等の開催、多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

また、水戸市から指定管理者の指定を受けている国際交流センターの適切な管理運営と公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

(ア) アナハイム市親善訪問団の派遣

期 間：平成 24 年 10 月 28 日(日)～11 月 4 日(日) 8 日間

派 遣 先：アナハイム、ヨセミテ、サンフランシスコ

内 容：市役所及び市長表敬訪問、市内施設視察(ゲディ・センター、タイガーウッズ学習センター、エンゼルスタジアム、アナハイム西高校、エクストロン・エレクトロニクス本社ほか)、ヨセミテ、サンフランシスコ市施設等の視察・見学、報告書発行

団 員：団 長 高橋 靖(水戸市長)

副団長 村田 進洋(市議会議員)

団 員 市民 男性 7 人 女性 8 人

市議会議員 男性 1 人

市職員 男性 2 人

協会職員 男性 1 人、女性 1 人

計 22 人(男性 13 人、女性 9 人)

(イ) アナハイム市親善訪問団受入(中止)

アナハイム市側の申し出により、訪問団の受入れは中止となった。

(ウ) 水戸市学生親善大使の派遣

応募者：31人(中学生9人、高校生22人)

選考試験：平成24年5月25日(金)書類選考、6月3日(日)面接・集団討論

派遣期間：平成24年7月27日(金)～8月5日(日) 10日間

内容：アナハイム市でのホームステイ等を通じて、市民との友好交流、アメリカ合衆国の文化等の学習と体験、報告書発行

派遣人数：13人(中学生4人、高校生6人、引率1人、協会職員2人)

団長：森 久美子(緑岡中学校教諭)

結団式：平成24年7月15日(日)

研修：事前研修 平成24年7月1日(日)、8日(日)、15日(日)

事後研修 平成24年8月19日(日)

(エ) アナハイム市学生親善大使の受入(中止)

福島原子力発電所の事故の影響により、派遣を見合わせたいとのアナハイム市側からの申し出があり、中止となった。

(オ) アナハイム市との教育交流事業

アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整、協議を行った。

採用者数：5人(更新を含む)

採用時期：平成24年4月1日

イ 友好交流都市重慶市との交流

(ア) 重慶市親善訪問(民間)の受入

期間：平成24年8月24日(火)

内容：市長表敬訪問(水戸大使委嘱状交付式及び懇談)、市内視察(水戸市国際交流センター、偕楽園、水戸芸術館、千波湖)

来水者：黄 茜(中日友好促進会副会長)

(イ) 重慶市青少年交流

日中国交正常化40周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、21世紀を担う青少年の友好交流の輪を広げることを目的として、「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」が開催され、選手団を派遣した。

派遣期間：平成24年8月16日(木)～8月21日(火) 6日間

派遣先：北京市

内容：卓球競技(水戸市・重慶市合同チーム)、表彰式及びレセプション、

市内見学(万里の長城, 天安門広場)

団 員 : 4 人(選手 2 人, 監督 1 人, 協会職員 1 人)

団 長 : 王 偉 亜(水戸市国際交流協会事務局長)

監 督 : 平澤 誉志幸(国田中学校教諭)

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深める啓発事業を行いました。

ア 国際交流のつどいの開催

市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、「日本・スロバキア共和国 国交樹立 20 周年」に合わせ、スロバキア大使館や関係団体等と連携し、スロバキアの文化や最新情報を紹介する事業を同時に開催した。

(ア) 各種パネル展の開催

期 間 : 平成 25 年 2 月 23 日(土)~3 月 22 日(金)

観覧者数 : 1,060 人

① 国際交流団体活動紹介パネル展

内 容 : 水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。

参加団体 : 18 団体

② スロバキア展

内 容 : スロバキアの基本情報や歴史, 文化などを知ることができるポスターや写真パネル, 出版物, 工芸品, 民族衣装などを展示した。また, スロバキア共和国駐日大使館ドゥラホミール・シュトス特命全権大使が来館し, 展示を視察するとともに, 水戸市長と意見交換を行った。

協 力 : スロバキア共和国大使館, ロナルド・ファイリッケーシュミット(茨城大学人文学部准教授)

(イ) 料理「スロバキア料理講座」の開催

期 日 : 平成 25 年 2 月 23 日(土) 午前・午後 計 2 回

講 師 : シュミット ひろみ(市内在住)

ロナルド・ファイリッケーシュミット(茨城大学人文学部准教授, スロバキア出身)

内 容 : 家庭で作れる簡単なスロバキア料理(ザワークラウトスープ, パラチンキ)の作り方やスロバキアの文化について学んだ。

参加者数 : 35 人(午前の部 16 人, 午後の部 19 人)

(ウ) 講演会「知られざるスロバキアの魅力」の開催

期 日：平成 25 年 3 月 2 日(土)
講 師：ブラニスラヴ・ポハバ(スロバキア大使館一等書記官)
通 訳：ルシア・コヴァチョヴァ(青山学院大学院生, EU インターン)
内 容：スロバキアの歴史や経済, 文化, 地域事情等などについて, 通訳を介して講演(スロバキア語・日本語 逐次通訳)。講演後は, 講師及び同国出身の市内在住外国人との交流会を実施した。

参加者数：56 人

(エ) 語り聞かせ「スロバキア民話のすばなし会」の開催

期 日：平成 25 年 3 月 9 日(土)
協 力：すばなしの会 みみずく
内 容：本を持たず, 物語を暗記して語り聞かせる「すばなし」を実施。今回は, スロバキア民話等 4 つの話のすばなしを行った。また, スロバキアに関連する書籍及び「スロバキア民話」(翻訳出版: シュミット茨城大学人文学部准教授)の原画の展示を行った。

参加者数：23 人

イ 国際交流団体連絡会議

ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして, 水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが, 今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し, そのつど個別に対応した。

ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJ ネットワーク支援

水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称: MIJ ネットワーク)」の活動を支援した。

内 容：日本語ボランティア団体が, 毎月第 2 木曜日に行う会議や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

研 修 会：①「より効果的な日本語支援を目指して—新しい日本語指導の教え方など—」

期 日：平成 24 年 9 月 23 日(日)

講 師：新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会)

参加者数：26 人

②「"Can-do" を取り入れた具体的な授業の進め方と指導方法」

期 日：平成 25 年 3 月 10 日(日)

講 師：新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会)

参加者数：20 人

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解を促すため、外国人を講師として派遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学んだ。

① 中国東北編

期 日：平成24年6月16日(土)

対 象：一般

内 容：チンジャオロウスー 醬炒肉絲(豚肉の甜麵醬炒め)、ゴンバオジーディン 宮保鶏丁(鶏肉とピーナッツのピリ辛炒め)、トゥドウスー 土豆絲(細切りじゃがいもの中華炒め)、ザーサイロウスーダンホアタン 榨菜肉絲蛋花湯(ザーサイと肉と卵のスープ)といった中国・東北地方の家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。

講 師：高井 英花(遼寧省出身、茨城県国際交流協会言語スタッフ)

受講者数：20人

② ロシア編

期 日：平成24年10月20日(土)

対 象：一般

内 容：ボルシチ(煮込みスープ)やブリヌイ(ロシア風クレープ)といったロシアの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。

講 師：アニシモア・アリョーナ(ウラジオストク出身)

受講者数：18人

③ フィリピン編

期 日：平成25年2月9日(土)

対 象：一般

内 容：シニガン ナ バブイ(鶏肉のスープ)やトルタン タロン(茄子のオムレツ)、ピナックベツ(野菜の炒め煮)といったフィリピンの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。

講 師：平野 ソリータ(マニラ出身)

受講者数：19人

(イ) 青少年のための国際理解講座―「サマークラス for ジュニア―韓国編」―

次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に、外国語や外国文化に触れる機会を設け、広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開催した。

期 日：平成24年8月26日(日)

対 象：小学校高学年～中学生

内 容：ドラマや音楽を通じ、小中学生にとって身近な国である「韓国」をテーマに、簡単な語学学習を交えながら韓国の文化を学んだ。

講 師：金 ^{キム} ^{ミジョン} 妮廷(茨城大学留学生)

受講者数：9人(小学生2人、中学生4人、保護者3人)

(ウ) 世界の歩き方講座

各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の歩き方などを学ぶことを通して、国際理解を深めた。

① イギリス(ロンドンオリンピック)編

期 日：平成24年7月3日(火)、10日(火)

対 象：一般

内 容：夏季オリンピック開催に合わせ「もっとも楽しむロンドン五輪」と題し、英国発祥のスポーツを中心に、五輪の開催国であるイギリスの歴史や文化、街の見どころなどについて理解を深めた。

第1部(7/3)：英国生まれのスポーツと夏のロンドン散策

第2部(7/10)：緑あふれるロンドン郊外のスポーツ

講 師：小林 英美(茨城大学教育学部准教授)

受講者数：48人

② イタリア編

期 日：平成24年10月31日(水)、11月7日(水)

対 象：一般

内 容：中部イタリアの古都フィレンツェに焦点をあて、絵画・彫刻・建築を中心にイタリアの文化や歴史、街の楽しみ方などについて理解を深めた。

第1部(10/31)：古都フィレンツェの歴史と美術を訪ねて

第2部(11/7)：フィレンツェ郊外の魅カ―ヴィッラめぐり、味覚と芸術の旅―

講 師：甲斐 教行(茨城大学教育学部教授)

受講者数：66人

③ ドイツ編

期 日：平成 25 年 1 月 29 日(火), 2 月 5 日(火)

対 象：一般

内 容：南ドイツの大都市ミュンヘンやバイエルン地方の諸都市に焦点をあて、歴史や文化、史跡、文化遺産の話を中心にドイツ諸都市の魅力、街の楽しみ方などについて理解を深めた。

第 1 部(1/29)：ミュンヘンの歴史と文化を訪ねて

第 2 部(2/5)：バイエルン地方の都市の魅力ー中世都市は今もー

講 師：池谷 文夫 (茨城大学教育学部教授)

受講者数：88 人

(エ) ホビングリッシュ講座

「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。

① ブラジル編

期 日：平成 24 年 10 月 27 日(土)

対 象：一般 (英語初級者向け)

内 容：ブラジルの代表的なデザート”ブリガデイロ”(チョコレート菓子)作りを中心に、ブラジルの文化や生活習慣などについて英語で学んだ。

講 師：ポール・ゴンサルベス(水戸市英語指導助手)

受講者数：15 人

② 文学編

期 日：平成 24 年 11 月 17 日(土)

対 象：一般 (英語上級者向け)

内 容：アメリカの現代小説であるスーザン・コリンズ著”The Hunger Games”(ハンガー・ゲーム)を原書で読み、小説の朗読や英語での議論を通して小説への理解を深めるとともに、英語の本を読む際のコツなどについて学んだ。

講 師：ケンドン・ムラル(水戸市英語指導助手)

受講者数：19 人

③ スロバキア編

期 日：平成24年12月15日(土)

対 象：一般（英語初級者向け）

内 容：スロバキアの歴史や文化、街の見どころ、クリスマス・シーズンの過ごし方などについて英語で学んだ。

講 師：ロナルド・シュミットーファイリック(茨城大学人文学部准教授)

受講者数：25人

(オ) 親と子の国際講座（水戸ユネスコ協会青年部と共催）

小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。

① 世界の誕生日の祝い方

期 日：平成24年6月30日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：誕生日に行うゲームやクイズなどを通して、世界各国の誕生日の祝い方について学んだ。また、誕生日に子どもが親に感謝のメッセージを贈るというイギリスの習慣を参考に、カード作製を行うとともに、各国料理作りを留学生と体験し、文化・生活習慣について学んだ。

受講者数：19人（子ども11人，保護者8人）

② 体験！世界の学校

期 日：平成24年12月8日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：「校舎・制服・給食・校則」の4つをテーマとして、世界の学校の様子についてクイズ形式で学ぶとともに、各国の子どもたちの代表的な遊びを実際に体験した。また、各国の料理の試食を通して留学生と交流し、楽しみながら国際理解を深めた。

受講者数：33人（子ども20人，保護者13人）

(カ) 国際理解のつどい（メサフレンドシップと共催）

期 日：平成24年11月18日(日)

対 象：一般

内 容：「スリランカの生活と食、そして東日本大震災復興支援活動のこと」と題し、歴史や生活習慣、世界遺産などスリランカの魅力や講師が行っている東日本大震災復興支援の活動の様子などについて学んだ。

参加者数：63人（うち外国人4人）

(キ) クラシック音楽でめぐる世界の街講座（水戸芸術館音楽部門協力）

水戸芸術館音楽部門学芸員の協力により開催する連続講座。様々な時代において活躍した作曲家などに焦点をあて、当時の街並みや文化、歴史的背景について学んだ。

期 日：平成25年2月14日(木)、21日(木)、28日(木)、3月7日(木)

対 象：一般

内 容：19世紀から20世紀にかけてヨーロッパで活躍した4人の作曲家に焦点をあて、クラシック音楽を通して文化や歴史的背景について学んだ。

第1回(2/14)：ブダペスト「音楽はすべての人のためのものーコダーイの描いた夢ー」

第2回(2/21)：サンクトペテルブルク「ムソルグスキーの〈展覧会の絵〉をめぐる仮想旅行」

第3回(2/28)：パリ「鳥と戯れ、神を讃えた現代の作曲家メシアン」

第4回(3/7)：バイロイト「総合芸術の提唱者・ワーグナーが辿ったバイロイトへの道」

講 師：中村 晃(水戸芸術館音楽部門芸術監督)、関根 哲也(水戸芸術館音楽部門主任学芸員)、篠田 大基(水戸芸術館音楽部門学芸員)

受講者数：82人（うち外国人1人）

イ 国際交流パーティーの開催

市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。

(ア) 花火鑑賞会

期 日：平成24年8月3日(金)

内 容：花火大会(黄門まつり)の鑑賞、地元市民と外国人市民との交流

参加者数：101人（うち外国人46人）

(イ) お月見パーティー（ラブニールと共催）

期 日：平成24年10月6日(土)

内 容：お月見をテーマに日本の文化紹介（着付け、けん玉、書道、折り紙、茶道）、地元市民と外国人市民との交流

参加者数：107人（うち外国人43人）

(ウ) 新年パーティー（ラブニールと共催）

期 日：平成25年1月19日(土)

内 容：日本語教室生徒による発表会、地元市民と外国人市民との交流

参加者数：105人（うち外国人60人）

ウ 国際理解のための外国人紹介

国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。

紹介数：9件（小学校5件、高校2件、その他の公的機関等2件）

紹介者数：19人

エ 地域との連携事業の実施

中心市街地の活気と賑わいの創出を図りながら、市民に世界の文化などに理解を深めてもらうため、地域団体等と連携・協力し、事業を行った。

(ア) 「第1回世界チョコレートフェスティバル」の開催（協力）

東日本大震災復興支援チャリティーイベントとして開催された「世界チョコレートフェスティバル」において、記念パーティーへの協力を行った。

期 日：平成25年3月9日(土)

会 場：水戸プラザホテル

内 容：外国人市民参加への協力、ガーナ出身者による「アフリカンバンド」出演への協力 など

(4) 外国人市民に対する支援

外国人市民や留学生に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めました。

ア どうようサロンの開催

(ア) 英語どうようサロン～English Smoothie～（常磐大学の協力）

英語を使つての外国人同士の情報交換や市民との交流サロンを毎月第1土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成24年4月7日(土)	45人（うち外国人5人）
2	5月5日(土)	43人（うち外国人13人）
3	6月2日(土)	41人（うち外国人9人）
4	7月7日(土)	38人（うち外国人10人）
	合 計	167人（うち外国人37人）

(イ) どうようサロンーマルチリンガルー

国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第1土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成24年9月1日(土)	32人(うち外国人10人)
2	10月13日(土)	24人(うち外国人7人)
3	11月3日(土)	18人(うち外国人1人)
4	12月1日(土)	14人(うち外国人2人)
5	平成25年1月5日(土)	14人(うち外国人2人)
6	2月2日(土)	30人(うち外国人4人)
7	3月2日(土)	24人(うち外国人0人)
	合 計	156人(うち外国人26人)

(ウ) 韓国語どうようサロン～トコトン韓国～

気軽に韓国語を使える機会を提供するとともに、韓国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第3土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成24年4月21日(土)	25人(うち外国人5人)
2	5月19日(土)	30人(うち外国人5人)
3	6月16日(土)	33人(うち外国人6人)
4	7月21日(土)	20人(うち外国人1人)
5	8月18日(土)	17人(うち外国人2人)
6	9月15日(土)	17人(うち外国人6人)
7	10月20日(土)	16人(うち外国人1人)
8	11月17日(土)	23人(うち外国人3人)
9	12月15日(土)	23人(うち外国人4人)
10	平成25年1月12日(土)	17人(うち外国人5人)
11	2月16日(土)	17人(うち外国人2人)
12	3月16日(土)	15人(うち外国人2人)
	合 計	253人(うち外国人42人)

(エ) 中国語どうようサロン～ニーハオ！中国～

気軽に中国語を使える機会を提供するとともに、中国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第4土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成24年4月28日(土)	22人(うち外国人7人)
2	5月26日(土)	24人(うち外国人5人)
3	6月23日(土)	26人(うち外国人12人)
4	7月28日(土)	8人(うち外国人0人)
5	8月25日(土)	10人(うち外国人4人)
6	9月22日(土)	10人(うち外国人4人)
7	10月27日(土)	18人(うち外国人6人)
8	11月24日(土)	10人(うち外国人3人)
9	12月11日(土)	14人(うち外国人3人)
10	平成25年1月26日(土)	12人(うち外国人4人)
11	2月23日(土)	17人(うち外国人4人)
12	3月23日(土)	4人(うち外国人0人)
	合 計	175人(うち外国人52人)

イ 子どものための日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、ボランティアが市立小・中学校へ出向き、日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

(ア) 日本語ボランティア学校派遣

対象児童・生徒数：18人

ボランティア数：12人

派遣学校：梅が丘小学校、五軒小学校、寿小学校、三の丸小学校、城東小学校、新荘小学校、千波小学校、吉田小学校、第二中学校、千波中学校

派遣回数：891回(夏期補習を含む)

(イ) 定例会

毎月第1・2・3木曜日に定例会を開催した。(場所：水戸市国際交流センター)

(ウ) 研修会

期 日：平成24年6月7日(木)

内 容：「Can-do」による日本語指導評価法を行うために必要な日本語の指導方法」と「児童教育の日本語支援をする場合の留意点と実際の現

場での指導方法」

講 師：北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

参加者数：50 人

ウ 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための日本料理教室

日本料理を学ぶことで、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。

① AET のための日本料理教室 (水戸市教育委員会と共催)

期 日：平成 24 年 8 月 16 日(木)

対 象：水戸市英語指導助手(AET)

内 容：日本の夏の風物詩を楽しむ料理(流しそうめん、天ぷら、スイカ割り)の実習を通して、日本文化を学んだ。

講 師：溝口 忠詔(日本料理店「松川」 経営者)

参加者数：34 人

② 外国人のための日本料理教室 (水戸ユネスコ協会協力)

期 日：平成 24 年 11 月 10 日(土)

対 象：外国人

内 容：秋から冬の食材を使った定番の日本料理(けんちん汁、鶏肉の生姜風味、大学芋)の実習を通して、日本文化を学んだ。

講 師：岡田 さかゑ(元中川学園調理技術専門学校講師)

参加者数：9 人

(イ) 外国人のためのスキー体験教室 (水戸市役所スキー部協力)

雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。

期 日：平成 25 年 2 月 15 日(金)

対 象：外国人

会 場：エーデルワイススキーリゾート(栃木県日光市)

講 師：水戸市役所スキー部員 3 人

参加者数：11 人

(ウ) 外国人のための市内ウォッチング

外国人市民に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。

期 日：平成 24 年 11 月 29 日(木)

対 象：外国人

内 容：水戸市や近郊の食の魅力を知ってもらうため、生産現場を見学した。

また、水戸の新しい魅力を知ってもらうため、映画のロケ地として注目が集まる「セツ洞公園」を見学した。

訪問先：お菓子夢工場(水戸市見川町)、木内酒造(那珂市)、そば打ち体験(水戸市森林公園内)、セツ洞公園(水戸市下国井町)

参加者数：17人

エ 生活ガイドブック、英文地図の提供

英語と日本語併記の水戸市の生活ガイドブック (GUIDEBOOK FOR LIVING IN MITO)、英語で表記された水戸市の地図 (MITO CITY GUIDE MAP) を提供した。

オ 外国人のための防災対策事業

地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。特に、平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、直下型の大地震が起こった場合を想定し、外国人市民に呼び掛け、防災訓練等を行った。

(ア) 防災訓練

火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。

① 6月期

期 日：平成24年6月29日(金)

参加者数：18人(外国人3人、ボランティア等6人、協会役職員9人)

② 12月期

期 日：平成24年12月14日(金)

参加者数：14人(外国人5人、協会役職員9人)

(イ) AED講習会(水戸地区救急普及協会協力)

内 容：AED(自動対外式除細動器)の使用方法や心肺蘇生法の訓練を行った。

期 日：平成24年11月30日(金)

参加者数：10人(外国人2人、協会役職員8人)

(ウ) 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供

英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアルの提供を行った。(水戸市英文地図に掲載)

カ 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行

水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。

発行言語：英語版・ルビ付日本語版

号	内 容
2012年4・5月号	・自動車税, ゴールデンウィーク, 日本語教室などの生活情報 ・イベント情報, お花見特集 等
2012年6・7月号	・外国人登録制度の廃止, 市県民税などの生活情報 ・イベント情報, 梅雨・二十四節気について 等
2012年8・9月号	・児童手当, 家電のリサイクル法, 夏の暑さ対策などの生活情報 ・イベント情報, 花火大会特集 等
2012年10・11月号	・国民健康保険, 市県民税, (保育園等)入園手続などの生活情報 ・イベント情報, 秋の料理レシピ 等
2012年12月・ 2013年1月号	・所得税(年末調整), 日本語教室(冬休み)などの生活情報 ・イベント情報, スキー・温泉特集 等
2013年2・3月号	・確定申告, AED(使用方法)などの生活情報 ・イベント情報, 市国祭交流センターからのお知らせ 等

キ 相談窓口の常設

国籍等を問わず, 生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し, アドバイスや情報を提供した(電話対応)。

内 容 : 在留資格・外国人登録制度の改正に関すること, 労使間のトラブルに関すること, 就職, 日本語学習, ボランティア活動, 翻訳に関すること など

相談者数 : 408人(うち外国人200人)

相談件数 : 408件(電話・電子メール相談225件, 来館相談183件)

(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化, 国際交流等に関する図書, 資料等を広く集め, 市民や外国人に提供し, また機関紙及びホームページなどにより, 情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

① 日本語版 : 3回発行(5月, 10月, 3月 : 各2,000部作成)

市内公共施設, 姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

5月(42号)	平成24年度の事業計画
10月(43号)	水戸市学生親善大使の交流 等
3月(44号)	アナハイム市親善訪問団派遣, 多文化共生(日本語ボランティアの取組み) 等

② 3か国語版(英語・中国語・ハンゲル)：年1回発行(5月：1,000部作成)

外国人市民等に配布

5月(10号)	平成24年度の事業計画
---------	-------------

(イ) 広報資料の頒布

情報発信の一環として、協会の作成したエコバッグ、クリアファイル、英文地図といった広報用資料を頒布した。

イ 図書、資料等の収集、提供

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。

ウ パソコンの利用、提供

情報コーナーにパソコンを設置し、来館者に提供した。

パソコン利用：374件（うち外国人258件）

エ ホームページによる情報提供

ホームページによる協会の最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。

訪問者数：20,178件

タイトル	内容
「日本発見記」	外国人市民へのインタビューを行い、自国の文化や生活習慣と比較しながら、日本の印象や就労、教育、子育てなどをテーマとした日本での生活について聞いた。(計7回)
「世界発見記」	世界の料理講座(つくってみよう世界の料理)で学んだ料理の調理方法などを中心に、毎回異なった国にスポットをあて、その国の文化や習慣などを紹介した。(計4回)
「世界教室」	水戸出身の若者が世界各地をめぐりながら、各国の人々の暮らしぶり、世界で発見したことや感じたことを現地からのレポートや写真等を通して伝えた。(計5回)

(6) 国際交流基金等の造成

市民からメモリアルプレート設置に協賛をいただき、基金の造成に努めました。

ア 一般寄付

1件50,000円

(7) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され、市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

区 分	件 数	人 数
国際交流関係	1,800 件	33,499 人
一 般	865 件	15,314 人
そ の 他	96 件	2,615 人
合 計	2,761 件	51,428 人 (うち外国人数10,087 人)

開館日数：295 日

(イ) センターの管理運営

① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し、使用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を行い、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。また、来館する外国人に対応するため、語学に堪能な職員を配置し、それぞれのニーズに応えられるよう努めた。

③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報、外国語の図書、日本語教育に関する教材、外国語新聞、ビデオなど国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに、来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

④ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し、効果的な管理運営を図るとともに、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び修繕を行った。

◇ 施設環境衛生管理業務

施設的美観を維持し、センターの利用者に対し快適な空間を提供するため、下記の業務を行った。

- ・ 日常清掃業務 休館日を除く毎日
- ・ 定期清掃業務 年 2 回 <6 月, 12 月>
- ・ 害虫防除業務 年 1 回 <3 月> ※ 調理室のみ
- ・ 排水設備清掃業務 年 1 回 <3 月>

・植物管理業務 月1回

◇ 設備保守点検業務

設備の異常や故障を早期に発見し、各設備が常に支障なく機能することにより、来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令や保安規定等に基づき、またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

・空調及び給水設備保守点検業務	年2回 <6月, 12月>
・飲料水水質検査	年1回 <3月>
・消防設備保守点検業務	年2回 <6月, 12月>
・エレベーター設備保守点検業務	隔月1回
・エレベーター設備遠隔監視業務	毎日
・自動ドア保守点検業務	年3回 <8月, 11月, 3月>
・自家用電気工作物保安管理業務	隔月1回

◇ 施設警備業務

施設での盗難、火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により、被害を最小限にとどめるよう、勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り、夜間及び休館日については、警備会社による機械警備及び巡回警備を行った。

(ウ) 施設整備(修繕等)への対応

平成10年に開館してから15年が経過し、国際交流センターの設備に経年劣化等による老朽化が見られるようになった。本年度は、2階北側(事務室及び交流展示室)の空調設備が故障し、調査の結果、修繕ができない状況であったため、水戸市と協議し、次年度以降に交換修繕を行うこととなった。

(8) その他

ア 公益法人運営関連業務

公益法人関連三法に基づき、次の業務を行った。

- (ア) 役員等報酬規程の一部改正による行政庁(茨城県)への改変手続き(4月)
- (イ) 役員等の変更による行政庁(茨城県)への改変手続き及び登記(5月, 9月)
- (ウ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成23年度7-3月期事業報告及び収支決算書)の提出(6月)
- (エ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成25年度事業計画及び収支予算書)の提出(3月)

イ インターンシップ、職場体験等の受入

学生等の就業意識の向上を図りながら、当協会や国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として、地域の学生に対し、当協会における就業体験等の機会を提供した。

受入数：4件14人(大学生1人，高校生4人，小学生9人)

(ア) 大学生

茨城大学人文学部社会科学科3年 女性1人

期 間：平成24年8月2日～4日，15日～16日，18日，21日～22日，
25日～26日(10日間)

実習内容：事務補助，国際交流事業準備及び運営補助等

(イ) 高校生

① 茨城県立水戸商業高等学校2年 男性2人

期 間：平成24年10月4日，5日(2日間)

実習内容：日本語教室参加，国際交流事業準備，事務及び施設管理補助，
資料・図書整理 等

② 大成女子高等学校1年 女性2人

期 間：平成25年2月6日，7日(2日間)

実習内容：日本語教室参加，事務及び施設管理補助，資料・図書整理 等

(ウ) 小学生

茨城大学教育学部附属小学校4年 9人

期 間：平成24年6月22日(1日)

内 容：施設見学，インタビュー(外国人市民への広報活動について)

ウ 視察の受入

国際理解の促進及び国際交流活動の活性化に向けた研修などを目的とした，壬生町国際交流協会からの視察研修団の受入を行った。

期 日：平成24年11月30日(金)

内 容：水戸市国際交流協会の事業概要，姉妹都市交流，外国人市民への
支援事業について，施設見学 など

受入人数：17人

2 組織及び運営状況

(1) 役員等について

ア 評議員体制(平成25年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
評議員	加納 昌子	平成24年6月20日
評議員	櫻庭 紀久子	平成23年7月1日
評議員	川瀬 由紀子	平成23年7月1日
評議員	谷 萩 紀行	平成24年6月20日
評議員	西連寺 節子	平成23年7月1日
評議員	掛札 真俊	平成23年7月1日
評議員	内田 久美子	平成23年7月1日
評議員	上村 洋美	平成23年9月14日
評議員	茂木 好美	平成23年7月1日
評議員	小倉 克夫	平成23年7月1日
評議員	立原 祐司	平成23年7月1日
評議員	幡谷 浩史	平成23年7月1日
評議員	根岸 孝雄	平成23年7月1日
評議員	瀬谷 和人	平成23年7月1日
評議員	小泉 光子	平成23年7月1日
評議員	片桐 康弘	平成23年7月1日
評議員	鈴木 敦	平成24年4月1日
評議員	増子 健一	平成23年7月1日
評議員	クレイ・バッセンジャー	平成23年7月1日
評議員	朴 美貞	平成23年7月1日
評議員	岩本 郁子	平成23年7月1日
評議員	多木 洋一	平成24年6月20日
評議員	佐藤 則行	平成23年9月14日

評議員23名

イ 役員体制(平成25年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
理事長(代表理事)	幡谷 祐一	平成7年3月24日
副理事長(代表理事)	大野 文雄	平成8年5月20日
常務理事(業務執行理事)	住谷 正敏	平成24年4月1日
理事	黒澤 輝子	平成19年4月1日
理事	渡辺 政明	平成23年9月14日
理事	田口 文明	平成23年9月14日
理事	依田 泉	平成21年4月1日
理事	荘司 治	平成7年3月24日
理事	秋山 高志	平成23年4月1日
理事	桂 秀明	平成19年4月1日
理事	小田部 卓	平成21年4月1日
理事	土肥 公仁	平成16年3月25日
理事	橋本 耐	平成20年4月1日
理事	田尻 充	平成19年4月1日
理事	本多 清峰	平成25年3月27日
理事	秋葉 宗志	平成24年6月20日
監事	栗原 孝祐	平成19年4月1日
監事	荒井 宰	平成24年6月20日

理事16名, 監事2名

ウ 役員等の異動

異動年月日	役名	氏名	備考
平成24年4月1日	評議員	鈴木 敦	就任
平成24年4月1日	理事	住谷 正敏	就任
平成24年6月20日	評議員	大久保 純子	退任
平成24年6月20日	評議員	加藤 芳子	退任
平成24年6月20日	評議員	小菅 均	退任
平成24年6月20日	監事	山内 基弘	退任
平成24年6月20日	評議員	加納 昌子	就任
平成24年6月20日	評議員	谷 萩 紀行	就任
平成24年6月20日	評議員	多木 洋一	就任
平成24年6月20日	理事	秋葉 宗志	就任
平成24年6月20日	監事	荒井 宰	就任
平成25年3月27日	理事	鯨岡 武	退任
平成25年3月27日	理事	本多 清峰	就任

(2) 議決(報告)事項

ア 評議員会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成24年6月20日	報告第1号	平成23年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第1号	平成23年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第2号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	議案第3号	公益財団法人水戸市国際交流協会監事の選任
	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任
平成25年3月27日	議案第5号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	報告第2号	平成25年公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	報告第3号	平成25年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算

イ 理事会

議決年月日	議決(報告)番号	件 名
平成24年4月1日 (決議の省略)	議案第1号	公益財団法人水戸市国際交流協会常務理事の選定
	議案第2号	公益財団法人水戸市国際交流協会常務理事報酬の決定
平成24年5月30日	議案第3号	平成23年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第4号	平成23年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第5号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会定時評議員会の招集
	報告第1号	業務執行状況報告
平成25年3月5日 (決議の省略)	議案第6号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会臨時評議員会の招集
平成25年3月27日	議案第7号	平成25年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	議案第8号	公益財団法人水戸市国際交流協会基金の取崩
	議案第9号	平成25年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算
	議案第10号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規程の一部を改正する規程
	報告第2号	業務執行状況報告

(3) 庶務事項

ア 法人登記

登記年月日	登記事項	内 容
平成24年4月20日	評議員の退任登記	伏 見 厚次郎
	理事の退任登記	小 澤 邦 夫 江 橋 勇
	評議員の就任登記	鈴 木 敦
	理事の就任登記	住 谷 正 敏
平成24年7月27日	評議員の退任登記	大久保 純 子 加 藤 芳 子 小 菅 均
	監事の退任登記	山 内 基 弘
	評議員の就任登記	加 納 昌 子 谷 萩 紀 行 多 木 洋 一
	理事の就任登記	秋 葉 宗 志
	監事の就任登記	荒 井 幸